

# 新潟クライミングクラブ（NCC）

新潟県労働者山岳連盟

「角田山からヒマラヤまで」「困難で創造的なアルパインクライミングに挑戦する」を目標に20代から70代まで26人が活動



谷川岳西黒尾根



剣岳小窓尾根

1995年4月、「新

潟でアルパインクライ

ミングの会を」「厳しい

冬壁に挑戦を」と佐藤

賢さん（チヨモランマ

登攀者、山岳ガイド）、

竹内和比古（2004  
年～2020年まで会長）、Sさ  
ん、Iさんで熱く語り合い、4  
人で新潟クライミングクラブ（N  
C C）を結成し、1996年7  
月に労山に加盟しました。

最初は7人程度でしたが、新  
潟大学の安藤勸氏（現札幌登攀  
クラブ）をはじめ、新潟大学山  
岳部や探検部員が入会する中で  
若返りました。

1995年～2005年頃の活動  
無雪期の登攀は、谷川岳一ノ  
倉沢の南稜、中央稜、変形チム  
ニー、ダイレクトカンテ、雲稜

第一、第三スラブ等や幽ノ沢の  
各ルート等。明星山では左岩稜、  
左フェース、フリースピリッツ、  
クイーンズウェイ、マニフェス  
ト等。剣岳チンネや源次郎尾根  
中谷ルート、穂高屏風岩も登攀  
しました。

積雪期の登攀や縦走は、5月  
の剣岳チンネ中央チムニー、赤  
谷山～北方稜線、剣岳小窓尾根、  
西穂高岳～奥穂高岳縦走、谷川  
岳一ノ倉沢の南稜、一ノ沢右壁  
左方ルンゼ、滝沢リッジ、幽ノ  
沢左方ルンゼ。明神岳東稜、八ヶ  
岳大同心雲稜、槍ヶ岳登頂等を  
成功させてきました。

30  
労山をつなぐ  
ネットワーク  
山の仲間を結ぶ  
会・クラブ紹介

海外登山は、佐藤賢氏が1998年のチョモランマ登頂に続き、K2に挑戦。飯塚公

知氏（新潟大学）が2003年にG2登頂。矢部（旧姓）千鶴

子氏が2004年にチユルー南東稜登頂など海外登山にも力を注いできました。



小川山



秋山郷布岩



蔵王仙人沢

後は新潟市と協力してクライミング講習会を開いてきました。

会長）が入会し、NCCはなんとか継続されました。石附は夏・冬の谷川岳登攀や5月の剣岳縦走、アイスクライミング等に力を發揮しました。

## 2006年～2015年頃の活動

アルパインクライミングは、常に一人一人に「体力、技術、精神力」が求められますが、様々

な理由で有力会員が退会していく、会は厳しい状態に置かれました。「NCCももはやダメか？解散か？」等激論が交わされました。2004年に石附（現副

山宮（現会長）が入会した2016年6月の時は8人しかいなかつた会員もHPをマメに更新することや、インドアやゲレンデでの声掛けによる勧誘等で年々入会者を増やし、今では26人（男性16人・女性10人）と再び活気を帶びてきています。

現在の会の活動としては年1回の総会、月1回の例会、月1回程度の会山行の他に各自が個人山行を行っています。最近はフリー志向の会員が多いですが、アルパイン、沢登り、アイス、山スキーも行っています。直近の会山行では2021年10月に明星山P6南壁へ11人でアルパインクライミングに行つてきました。

## 今後について

クライミングはフリー、アルパインを問わず常に危険が隣り合わせにあり100%絶対安全と言えるものが世の中には無い

という事は十分承知しています。ですが、エイトノットを綺麗に結ぶことや、登攀前にパートナーチェックを確実に行うなど誰でも100%確実にできることもあります。そういう100%確実にできることをひとつずつ

積み重ねて事故やケガが0に近づくよう努力していきたいと思います。また、会の講習会でもそういうことを意識させるよう指導していきたいと考えています。

これからも「クライミング面白い、楽しい」の原点に返つて活動をしていきたいと思います。（竹内和比古、山宮秀樹／新潟クライミングクラブ）

\*山行の詳細については新潟クライミングクラブのHPを参照してください。  
<https://niigataclimbingclub.wordpress.com/>